

令和5年度事業計画

令和5年度事業の基本的な考え方

本県への新たな人の流れを創出・拡大するため、若者や子育て世帯等を中心に、移住の働きかけから定住・定着に至る各段階の支援策を着実に実施するとともに、コロナ禍を契機とした、「働き方の新しいスタイル」の普及や地方移住への関心の高まりを好機と捉え、地方創生テレワークとその裾野を広げるワーケーションを一体的に推進

移住の働きかけ・情報発信

- 「やまぐち暮らし支援センター」の運営
新 大阪地区に相談員を配置
- 若い世代を呼び込む情報発信・新たなPRツールの作成
新 SNS等のデジタル技術を活用した戦略的情報発信
新 移住サイトのリニューアル、PR動画の制作
- 大都市圏での移住関連フェア等への出展・オンライン相談の実施

移住に向けた支援

- YY！ターンセミナーの開催
拡 転出者の多い福岡県での開催
- YY！ターン支援交通費補助の拡充
・利便性向上のための定額制の導入
・福岡県からの自家用車による来県支援
- YY！ターンオーダーメイドツアーの実施

受入・定着支援

- YY！ターンコンシェルジュによる定着支援
- YY！ターンパスポートによる経済的負担の軽減
- 地域おこし協力隊の定住支援
新 地域おこし協力隊OB・OGのPR動画の制作
- 「やまぐち移住倶楽部」による移住者支援

関係人口の創出・拡大

- 山口つながる案内所の運営
- 県内地域とのマッチング・受入支援
- 関係人口来県支援交通費補助金

地方創生テレワークとワーケーションの一体的推進

- 「YY！SQUARE」（県庁1階）「YY！GATEWAY」（山口宇部空港）の運営
新 県内事業者と連携したワーケーションツアーの造成
拡 「やまぐちテレワーク・ワーケーションセミナー」等の開催、都市部企業・就業者へのPR
《参考：県予算事業》
新 やまぐち創生テレワーク移住補助金の創設 **拡** テレワーク移住支援金の拡充

事業概要 (1)

1 移住の働きかけ・情報発信

デジタル技術を活用し、ターゲットに向けた効果的かつ的確な情報発信を行うとともに、オンライン相談の実施や、新たに大阪地区に移住相談員を配置するなど、移住希望者のニーズに対応したきめ細やかな相談対応を強化する。

(予算額：40,055千円)

区 分	主 な 事 業 内 容
「やまぐち暮らし支援センター」の運営	○ 東京、大阪、山口に設置している「やまぐち暮らし支援センター」におけるきめ細やかな相談対応やフォローの実施
大阪地区の体制強化	新 新たに「大阪ふるさと暮らし情報センター」に相談員を配置し、本県から若い世代の転出者が多い大阪地区の相談対応を強化
若い世代を呼び込む情報発信・ 新たな P R ツールの作成	新 データ分析に基づく SNS 広告の活用等のデジタル技術を活用した戦略的情報発信 新 移住支援サイト「住んでみいね！ぶちええ山口」のリニューアル 新 若者や女性、子育て世帯に訴求力のある「P R 動画」の制作・配信 ○ 「やまぐち暮らしガイドブック」やパンフレット等の作成・配付
大都市圏での移住関連フェア等への 出展・オンライン相談の実施	○ 全国規模の移住関連フェアに出展し、本県の魅力の P R や個別相談の実施 ○ 移住希望者のニーズに応じたオンライン相談の実施

事業概要 (2)

2 移住に向けた支援

本県の人口流出の状況を踏まえ、若者や子育て世帯等を中心に、移住希望者に対する情報発信の強化と本県からの転出者が多いエリアを重点的にアプローチする実践的なセミナーの開催や移住の下見等に係る来県交通費補助を拡充し実施する。

(予算額：16,480千円)

区 分	主 な 事 業 内 容
ＹＹ！ターンセミナーの開催・ 移住候補地の動画配信	<ul style="list-style-type: none">○ 本県への移住希望者が必要な情報を入手し円滑に移住を実現できるように、ニーズに応じたテーマ設定による講座を開催<ul style="list-style-type: none">・若い世代の移住希望者のニーズに対応拡 首都圏に加え、本県から転出の多い福岡県でも開催○ 市町と連携し、県内の移住候補地の魅力を現地から移住実践者等が紹介する「Live配信」を実施
ＹＹ！ターン支援交通費補助金	<ul style="list-style-type: none">○ 県外在住の移住希望者が本県を訪れる際の交通費を補助(移住に関するツアー、セミナー、暮らし体験、下見等)<ul style="list-style-type: none">・定額制の導入により、手続の簡素化と利便性を向上・本県からの転出の多い福岡県からの自家用車による来県を支援
ＹＹ！ターンオーダーメイドツアーの実施	<ul style="list-style-type: none">○ 移住希望者のニーズに応じた現地体験ツアーの企画・実施

事業概要 (3)

3 受入・定着支援

本県への移住希望者が移住を実現し、移住後も安心して住み続けられるよう、「YY！ターンコンシェルジュ」による相談の段階からの伴走支援や、地域おこし協力隊の定住支援、「やまぐち移住倶楽部」を中心とした交流会等を実施する。

(予算額：14,265千円)

区 分	主 な 事 業 内 容
YY！ターンコンシェルジュによる定着支援	○ YY！ターンコンシェルジュを配置し、移住の相談段階から定住に至るまでの寄り添った支援を実施
YY！ターンパスポートによる経済的負担の軽減	○ 協賛企業等と連携し、移住に伴う経済的負担に対する支援などを行い、本県への移住・定住を促進
地域おこし協力隊の定住支援	○ 任期満了を迎えた協力隊の定住を図るため、セミナーの開催や、隊員の活動等を県内外へ情報発信 新 地域おこし協力隊OB・OGの「PR動画」の制作・配信 ○ 協力隊OB・OGが出店するマルシェ等イベントの実施
「やまぐち移住倶楽部」による移住者の支援	○ 移住者交流会や「やまぐち定住カフェ」の開催により、移住者同士が交流し、情報交換できる体制を整え、安心して住み続けられる環境を整備

事業概要（4）

4 関係人口の創出・拡大

首都圏に開設した「山口つながる案内所」を総合的なハブ拠点として、都市部人材と地域とのマッチングの推進や情報提供等により、本県と継続的に関わる多様な人材である「関係人口」の創出・拡大を図るとともに、将来的な移住の裾野の拡大につなげていく。

（予算額：15,000千円）

区 分	主 な 事 業 内 容
「山口つながる案内所」の運営	○ 東京日本橋の「おいでませ山口館」内に設置した「山口つながる案内所」を拠点として、山口県とつながるための様々な情報発信を行い、関係人口の登録を促進 （案内所、ふるさと納税、農山漁村体験、地域おこし協力隊等の紹介・PR）
県内地域とのマッチング・受入支援	○ 地域の課題解決や活性化につなげる「関係人口プロジェクト」により都市部の多様な人材とのマッチングを推進
関係人口来県支援交通費補助金	○ 関係人口登録者を対象に、山口県で開催する地域活動や体験交流への参加を目的とした来県時の交通費を支援

5 やまぐち創生テレワーク・ワーケーションの一体的推進

コロナ禍を契機とした時間や場所にとらわれない「働き方の新しいスタイル」の普及や地方移住への関心の高まりを好機と捉え、本県への新たな人の流れを創出・拡大するため、地方創生テレワークとその裾野を広げるワーケーションを一体的に推進する。

(予算額：83,666千円)

区 分	主 な 事 業 内 容
テレワークオフィス 「YY！SQUARE」(県庁1階) ワーケーション総合案内施設 「YY！GATEWAY」(山口宇部空港) の運営	<ul style="list-style-type: none"> ○ コンシェルジュによる相談対応や県内関連施設の総合案内 ○ 県内施設等の利用促進に向けたイベントの開催やPRの実施 ○ 「山口県テレワーク・ワーケーション総合案内サイト」の運営 (県内関連施設とのネットワーク構築等)
県内事業者と連携したワーケーション ツアーの造成	<p>新 「山口型ワーケーション」の受入体制を強化するため、県内でワーケーションツアーを催行する旅行事業者（協業パートナー）を募集し、ツアー造成を支援</p>
都市部企業・就業者へのPR	<ul style="list-style-type: none"> ○ テレワーク移住の促進に向けた都市部企業等への情報発信 拡 「やまぐちテレワーク・ワーケーションセミナー」の開催 拡 「やまぐちテレワーク・ワーケーションウィーク」の実施 ○ 大都市圏で開催されるワーケーション関連イベントへの出展 ○ 民間事業者のリソースを活用したWeb広告や営業展開

5 やまぐち創生テレワーク・ワーケーションの一体的推進

区 分	主 な 事 業 内 容
<p>新 やまぐち創生テレワーク移住補助金</p>	<p>国の「地方創生移住支援事業」の対象外となる東京23区外の東京圏、及び近畿圏・中京圏のうち、人口100万人以上の都市を抱える府県を対象区域とした本県独自のテレワーク移住補助制度を創設</p> <p>[対 象 者] 東京圏（東京(23区外)、埼玉、千葉、神奈川）、愛知、京都、大阪、兵庫からのテレワーク移住者</p> <p>[補 助 額] 50万円（世帯）、30万円（単身） 18歳未満の帯同世帯員1人につき50万円加算</p>
<p>拡 テレワーク移住支援事業</p>	<p>国の「地方創生移住支援事業」を活用し、テレワーカーや、県内の地域と継続に関わる関係人口を対象として、本県への移住を支援</p> <p>[対 象 者] 東京23区在住者又は通勤者（直近10年間で通算5年以上在住又は通勤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本県に移住し、引き続きテレワークで業務を行う者 ・ 移住前に移住希望先の市町の地域等と関わりを有し（関係人口）、その市町が個別に強いつながりがあると認める者※ <p style="text-align: right;">※市町により個別に要件を設定</p> <p>[補 助 額] 100万円（世帯）、60万円（単身）</p> <p>拡 18歳未満の帯同世帯員1人につき100万円加算</p>

令和5年度「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議 収支予算

1 収入の部

(単位：円)

区分	予算額	備考
負担金収入	169,466,000	・県負担金
前年度繰越金	2,413,275	
計	171,879,275	

2 支出の部

(単位：円)

区分	予算額	備考
「住んでみいね！ぶちええ山口」YY!ターン推進事業費	70,800,000	・やまぐち暮らし支援センターの運営費 ・デジタル技術を活用した情報発信経費 ・YY!ターンセミナー開催等経費 ・来県交通費補助金 等
関係人口創出・拡大事業費	15,000,000	・山口つながる案内所の運営費 ・県内地域とのマッチング支援経費 等
やまぐち創生テレワーク・ワーケーション推進事業費	83,666,000	・「YY! SQUARE」の運営費 ・「YY! GATEWAY」の運営費 ・ワーケーションツアーの造成経費 ・都市部企業・就業者等へのPR経費 等
事務局運営費	2,413,275	・消耗品費等
計	171,879,275	